

# 令和6年度提示平均価額（案）の概要<山林>

## 1 提示平均価額（案）の特徴

木祖村、高森町において、砂防指定地による減額を適用したことを主な要因として、平均価額が下落（前年度比：0.862倍、0.962倍）したこと、下諏訪町において標準地の単価を下方修正したことを主な要因として、平均価額が下落（前年度比：0.977倍）したこと、箕輪町において、価格の低い山林が非課税地になったことを主な要因として、平均価額が上昇（前年度比：1.011倍）したことを除くと、昨年度と比較して、平均価額に大きな変動はありません（前年度比：0.862～1.011倍）。

これは地価が下落傾向にある中、評価額が売買実例価額を下回っているため、評価額を据え置いていることによります（全国的な取扱い）。

## 2 提示平均価額（案）の変動割合順

順位	区分 市町村名	令和6年度 提示平均価額 (案) C (円/千㎡)	令和5年度 平均価額 F (円/千㎡)	変動割合 C/F(倍)
1	箕輪町	21,879	21,638	1.011 ↑
2	駒ヶ根市	29,815	29,607	1.007 ↑
3	須坂市	16,262	16,210	1.003 ↑
⋮				
75	下諏訪町	15,662	16,038	0.977 ↓
76	高森町	19,409	20,175	0.962 ↓
77	木祖村	9,000	10,440	0.862 ↓

(主な理由)  
**【箕輪町】** 価格の低い山林が非課税地成りで減少したことによる増  
**【駒ヶ根市、須坂市】** 価格の高い山林が地目変換で減少したことによる増  
**【下諏訪町】** 標準地の単価を下方修正したことによる減  
**【高森町、木祖村】** 砂防指定地による減額を適用したことによる減

## 3 総評価見込額の変動割合順

順位	区分 市町村名	令和6年度 A (千円)	令和5年度 D (千円)	変動割合 A/D(倍)
1	御代田町	137,404	135,381	1.015 ↑
2	駒ヶ根市	474,405	468,124	1.013 ↑
3	須坂市	564,959	559,155	1.010 ↑
⋮				
75	高森町	90,192	93,513	0.964 ↓
75	箕輪町	235,833	244,569	0.964 ↓
77	木祖村	248,955	288,840	0.862 ↓

(主な理由)  
**【御代田町】** 価格の高い山林が地積更正で増加したことによる増  
**【駒ヶ根市、須坂市】** 上記2に同じ  
**【高森町、箕輪町、木祖村】** 上記2に同じ

## 4 総地積の変動割合順

順位	区分 市町村名	令和6年度 B (㎡)	令和5年度 E (㎡)	変動割合 B/E(倍)
1	御代田町	8,184,614	8,076,650	1.013 ↑
2	須坂市	34,740,284	34,494,170	1.007 ↑
3	駒ヶ根市	15,911,383	15,811,142	1.006 ↑
⋮				
75	根羽村	32,334,509	32,507,823	0.995 ↓
76	王滝村	6,577,374	6,620,221	0.994 ↓
77	箕輪町	10,779,135	11,302,705	0.954 ↓

(主な理由)  
**【御代田町】** 上記3に同じ  
**【須坂市、駒ヶ根市】** 上記2に同じ  
**【根羽村、王滝村】** 非課税地（保安林）成りで減少したことによる減  
**【箕輪町】** 上記2に同じ